

岐阜県 中山間農業研究所ニュース

2022年

第1号

2022.4発行



令和4年度新規プロジェクト研究を紹介！

中山間地域農業の維持・発展の為に、デジタル技術の活用による生産性向上や、近年の気候変動に適応した新技術や新品種開発が必要です。このため、今年度から新たに取組む2つのプロジェクト研究を紹介します。

清流の国ぎふ

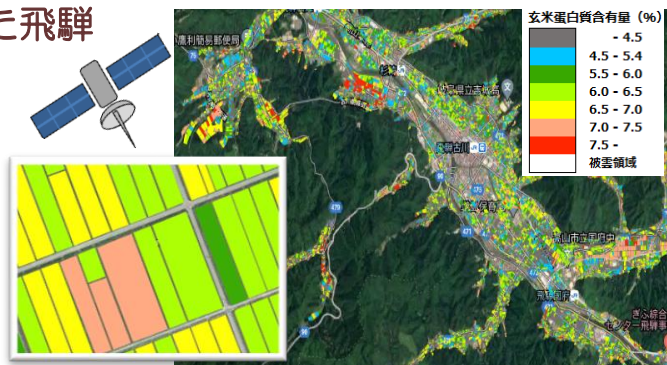
農畜水産業のDX加速化プロジェクト研究（令和4年～6年）

- 農業の省力化、効率化を飛躍的に高めるため、デジタルトランスフォーメーション（DX）による革新的技術開発を進めるためのプロジェクトです。

人工衛星によるセンシング等を活用した飛騨地域水稲生育・品質管理技術の開発

人工衛星を活用したセンシング技術による水稲「コシヒカリ」の品質や食味の推定並びにメッシュ気象データに基づく生育予測とクラウド型の生育情報システムを組み合わせた飛騨全域の水稲生育・品質管理システムをビジョンテック（株）と共同開発し、社会実装を目指します。

【担当本所／可児 友哉】



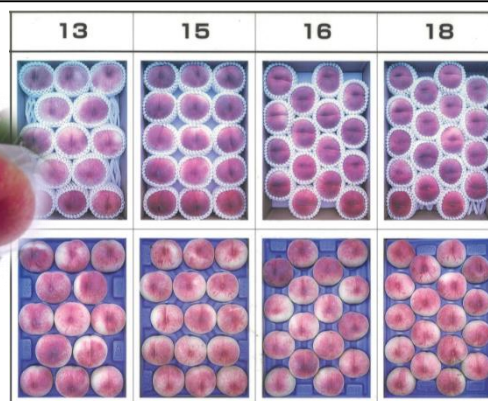
刈取り前の「コシヒカリ」タンパク質含量の推定

深層学習を利用したモモの選果技術の開発

熟練技術が必要なモモの選果作業について、デジタル技術とAIの活用により、誰にでも選果ができる選果機の開発を目指します。

今年は画像から選別可能な形質や障害を明らかにすると共に、深層学習による選果精度向上についてコニカミノルタ（株）、岡山大学と共同研究を進めます。

【担当本所／安江 隆浩】



飛騨桃「白鳳」選果後の状況（上段：秀品、下段優品）

切花フランネルフラワーの出荷予測・開花調節技術の開発

切花フランネルフラワーの個別栽培管理に対応した出荷予測及び開花調節技術を県農業技術センターと共同で開発します。加えて夏期冷涼な中山間地域に適した作型及び栽培技術を開発します。

【担当支所／服部 哲也】



切花用フランネルフラワー品種 “ファンシーマリエ”

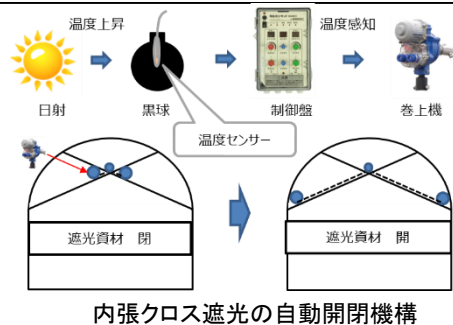
農業の気候変動適応プロジェクト研究（令和4年～8年）

- 近年の気候変動が及ぼす農業への影響に適応した新技術・新品種を開発します。

I o T 技術を組み合わせた夏ホウレンソウ栽培のA I 遮光技術の確立

当所が開発した黒球内温度制御による内張クロス自動遮光技術について、岐阜大学工学部と連携し、新しいセンサーやI o T デバイス等を用いて増収や省力化につながる機能向上とコスト低減を目指します。

【担当本所／岩腰 翔太】



夏秋トマト産地維持を可能とする気候変動適応技術の確立

今後の夏季の高温化による夏秋トマトの生産性の低下を回避するため、新たな夜間冷却システムや高温等の影響を回避する新たな作型の開発を岐阜大学の協力を得ながら実現します。

【担当支所／杉本 和広】

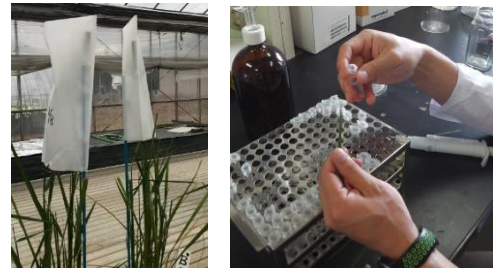


気候変動を凌駕する水稻新品種開発と現地展開

気候変動の影響により増加が懸念される障害に対応する新品種の育成とその栽培技術を開発します。

当所では穂発芽し易い欠点を持つ「たかやまもち」と「ひだほまれ」の品種改良を農研機構作物研究部門と共同で行います。

【担当本所／可児 友哉】



難穂発芽性品種のDNAマーカー育種

気温上昇に対応した岐阜県果樹の産地移動・新品目導入のための基盤技術の開発

本県果樹産地の将来を見据えた樹種選定、気温上昇途上での早期産地化のための耐凍性評価や栽培法並びに病害虫防除方法を検討します。加えて既存樹種の長寿命化のための対策技術など果樹産地持続に必要な基盤技術を岐阜大学と共同で開発します。

【担当本所／安江 隆浩】



人事異動(令和4年4月1日付) よろしくお祈りします。

転入者			旧所属	転出者			新所属
本所	管理調整係長	清水三智夫	古川土木事務所	本所	管理調整係長	中藪 朋美	飛騨農林事務所
本所	専門研究員	坂田 勲	飛騨県事務所	本所	専門研究員	浅野 雄二	飛騨農林事務所
本所	主任研究員	矢島 隼人	飛騨農林事務所	本所	研究員	前川 晴希	農業技術センター
支所	研究員	古田 栞那	農業技術センター	支所	研究員	鈴木 駿太	恵那農林事務所

岐阜県 中山間農業研究所

本 所 〒509-4244 岐阜県飛騨市古川町是重二丁目6番56号
TEL: 0577-73-2029 FAX: 0577-73-2751

中津川支所 〒508-0203 岐阜県中津川市福岡1821-175
TEL: 0573-72-2711 FAX: 0573-72-3910

研究所ホームページ <https://www.k-agri.rd.pref.gifu.lg.jp/>